

大腸内視鏡について

内視鏡室看護師

おんだ ともえ
恩田 智恵

大腸内視鏡は、お尻から盲腸まで内視鏡を入れ、観察する検査です。

健診で便潜血（+）やお腹の不調、便秘や下痢など気になる症状のある方が受けており、一日5件ほど行っています。

通常、大腸検査は前日から食事内容の制限、下剤の服用と前処置が始まります。腸の中に消化されない物が残っていると観察不良となります。せっかくの検査が無駄にならないよう、各診療科でパンフレットを使用し、当日の不安が少しでも和らぐよう、説明しています。

食事については、「下剤を飲むから大丈夫だろう」と思われがちですが、食物繊維の多い食品は、大腸内に必ず残ってしまうため避けましょう。

避けたい食品

果物 野菜 キノコ類 海藻類 豆 こんにやく
ゴマ 玄米 ラーメン そばなど
アルコール 香辛料などの刺激の強い食品

※食事が心配な方は、市販の検査食もあります。



検査は、プライバシーが保たれるよう、検査用のパンツを使用します。検査中は、緊張や不安が少しでも緩和できるようコミュニケーションをとり、気になることがあればその都度説明をしています。話しやすい雰囲気での検査環境です。

検査後は注意事項を説明します。

各診療科と連携をし、検査がスムーズに受けられるような体制で行っています。

せっかく受けるなら万全の準備をして臨んではいかがでしょうか。

